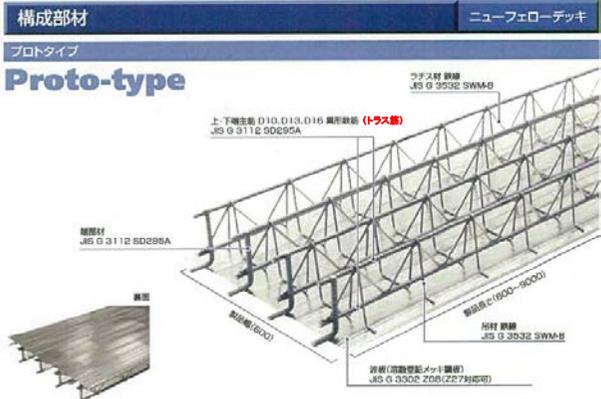


フェローデッキ床スリーブ（箱抜き）対応

写真・イメージ	概要（効果・特徴・メリット等）													
<p data-bbox="255 293 551 323">【フェローデッキ製品図】</p>  <p data-bbox="217 826 618 857">【スタイロフォームによる箱抜き】</p> 	概要	フェローデッキのトラス筋に合わせてスタイロフォームを加工・設置し、箱抜きを行う。箱抜き上部はコンパネ等で塞ぎ開口養生を行う												
	工程	<table border="1" data-bbox="949 352 1458 469"> <tr> <th>設計</th> <th>躯体施工</th> <th>内装施工</th> <th>外構施工</th> </tr> <tr> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				設計	躯体施工	内装施工	外構施工		○			
	設計	躯体施工	内装施工	外構施工										
		○												
効果	<p data-bbox="889 592 2078 708">■フェローデッキはトラス筋付きの構造で、大空間のスラブ構造に使用されることが多く、床コンクリート打設前から打設後に掛けて、型枠支保工が不要というメリットがある。その反面、コンクリートが硬化するまでの間（打設後約30日間）、トラス筋を切断することができず、貫通枠や実管ダクトなど鉄製のスリーブを打設前に取り付ける作業は容易でない</p> <p data-bbox="889 740 2078 799">■フェローデッキの場合には、切欠き加工が容易なスタイロフォームを利用し、箱抜きとして設置する方法が最良</p> <table border="1" data-bbox="949 903 1583 1019"> <tr> <td>Q</td> <td>C</td> <td>D</td> <td>S</td> <td>E</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>◎</td> <td>○</td> <td>△</td> </tr> </table>				Q	C	D	S	E	—	—	◎	○	△
Q	C	D	S	E										
—	—	◎	○	△										
備考 注意事項	<ul data-bbox="896 1054 2078 1203" style="list-style-type: none"> 丸型スリーブの場合は、紙ボイドが最良。鉄製・塩ビ製の加工は困難。 貫通枠・実管ダクトが使用できず、産廃量が増大する。 コンクリート硬化後、デッキ切断作業に加え、トラス筋を切断する手間が発生する。 但し、原則としてスリーブが集中するシャフト・便所などの水廻りは、フラットデッキに変更することを推奨。 													
適用範囲 仕様	フェローデッキに設置する箱抜きスリーブとして、スタイロフォームを加工して使用													
用途	事務所ビル・公共施設等（吹抜け等、大空間スラブ構造が比較的多い用途）													